神戸市立太山寺中学校
公開授業研究会
授業参観者の感想

対象欄：太山寺中の授業について、印象に残ったことや今後の実践に活かしていきたいことをご記入ください。

【分類一覧】

1 英語を使う意欲・自信と、生き生きとした生徒の姿（20件）

2 質問・応答・即興のやり取りと、聞き手の育ち（15件）

3 安心して話せる教室の雰囲気と、生徒同士・教師との関係（6件）

4 生徒に委ねる授業と、教師の声かけ・支援（8件）

5 基本文トレーニング・Q&A・帯活動による土台づくり（11件）

6 思考ツールによる可視化・他者参照・自己調整・中間指導（15件）

7 単元ゴール・目的や場面の設定と、逆算した授業づくり（7件）

8 教科書の扱いと、授業改革への気づき・実践への意欲（9件）

9 英語科の協働・学年を超えた取り組みと、継続の力（9件）

1 英語を使う意欲・自信と、生き生きとした生徒の姿（20件）

1. 生徒のみなさんの生き生きとした取り組み。先生と子どもたちとの信頼感。
2. いろいろ刺激を受けた中で、ある女子生徒から話を聞いた際に、「自分は英語が1番嫌いで苦手だけれど、7月ぐらいから話せるようになってきて嬉しいです。」という答えが返ってきたことが最も印象に残っています。
3. 子どもたちが生き生きと、前に出て話したり、質問したりする姿がとても印象に残りました。子どもたち一人一人が自信を持って話すことができる土台が大きく影響しているように感じました。自分の授業ではまだまだ自信がない子が多いと感じているので、学年に合わせて知識技能をしっかり身につけさせること、何度も挑戦しながら調整していく経験をもっと取り入れていきたいと思いました。
4. 生徒の皆さんが英語を使って、生き生きとされていたことが全てです。先生方が時間をかけて継続されてきたことが垣間見られる1時間でした。また、先生方が進行役的な存在で生徒たちが主役になる授業を見させていただき、私自身、目標を高く持ち日々精進したいと思いました。ありがとうございました。
5. 生徒が楽しそうに英語を長文で話しているのは感動しました。
6. 生徒だけでなく、授業者の先生の表情もとても楽しそうだったことが印象的でした。
7. 生徒たちが楽しんで英語を使っていました。今の授業を変えたいと思いました。
8. 先生方の今までの取り組みが確実に効果を発揮していることを、強く実感しました。生徒たちが生き生きと活動していたのが、何よりの証拠だと思います。すぐに自分の授業で実践できるかどうかわかりませんが、授業を見ながらやってみたいと思いました。
9. どの授業でも生徒が英語を使って会話することに楽しさを感じている様子であった。自分の授業でも楽しさを感じさせるためにも思考判断のある授業展開をしていきたい。
10. 50分間生徒がずっと英語を話していたこと。
11. 生徒たちが生き生きと活動する姿がとてもよかったです。先生方の努力の成果だと感じました。この状態になるまで少しずつステップを踏みながら前進されたのだろうなと推察します。
12. 生徒の皆さんが生き生きと活動に取り組んでいる様子がたいへん印象に残りました。

13. 私が一番感動したことは、英語の授業を受けている生徒の目が輝いていたことです。進んで発表する生徒や、リアクションをとっている生徒、質問を積極的にしている生徒がたくさんいたことも素晴らしいと思いましたが、クラスのほぼ9割くらいの生徒の目が輝いていて、表情が生き生きとしていたことが印象に残っています。やはりそれは、英語を知識としてではなくて、自分たちのコミュニケーションのツールとしてとらえて、思いや考えを相手に伝えたい！という思いがあるからだと感じました。英語を使って思いや考えを相手に伝えたい！という思いがあってこそ、だと思うので、しゃべりたい！！！と生徒たちが思えるような環境づくり、授業づくり、教材づくりを考える必要があると改めて感じることができました。

14. 生徒たちがとても楽しく英語の授業に全員が参加していたこと。分からないけど、英語で一所懸命伝えようとしていたこと。

15. 英語で自分の考えを述べることが自然とできていたのがすばらしかった。

16. 生徒たちみんなが積極的に授業に取り組んでいる姿が印象的でした。

17. 生徒は言語活動に意欲的に取り組み、相手に伝えようとする意識をもちながら活動を進めることができていた。

18. 生徒たちが自分から積極的に、英語をつかって発表やペアワークをしていたことが印象に残っています。進んで言いたいと思えるような授業づくりがいいと思いました。

19. 子どもたちの姿がとても印象的でした。自発的に発話する姿に感動しました。

20. 生徒が積極的に英語を使おうとしている姿に感心しました。

2 質問・応答・即興のやり取りと、聞き手の育ち（15件）

1. 生徒たちがずっとアクティブに活動していたこと。生徒たちの質問力の高さに驚きました。

2. 生徒が生き生きと自分の意見を言っていました。それに対して聞いている生徒たちが、しっかりと反応したり、質問を返しているところがいいと思いました。

3. スピーチで何も見ずに英語を話しているところ、英語で質問したり答えたりしているところ、何より楽しい雰囲気で授業を受けている姿が印象に残りました。ありがとうございました。

4. 生徒が積極的にクラスメイトに伝えようとする姿勢、そのツールが英語だと感じました。単に発表するだけでなく、内容について質問してやり取りを楽しめるように、質問の仕方や反応の仕方について生徒に提示し、練習する機会を作りたいです。まずは今日から、授業のはじめに、自分と生徒との対話を充実させることから始めてみようと思います。

5. 生徒たちが積極的に活動していたこと。年度末ごろには発表者に対する質問やコメントの種類を広げられたらいいですね。生徒の質問：What does he do?に対して困惑する発表者に授業者が「何をしているか（現在進行形？）」との補助を出した場面。今後も母語における外国語への影響の修正や気づきにどのように対応するのかは大切なポイントでしょう。

6. 生徒が生き生きと自分の意見を話したり、他者の意見にリアクションしたり、質問をしたりする姿に感動しました。それまでの授業方法の転換からこの姿があるのがよく分かり、とても刺激を受けました。今日の学びを意識して、授業に活かしていきたいです。

7. 生徒たちが生徒同士で英語でやり取りしていたこと。前に立った生徒がスピーチをして、質問タイムでどう答えてよいか分からないとき、質問者がその生徒の日本語を英語に言い換え、タイミングよくつぶやいて、発表者の生徒が英語で言い直していた場面があった。

8. 発表する生徒もしっかり話せていたけど、聞いている生徒がいっぱい質問していてすごいと思った。私が今小学校でこうしたいと思っている姿だった。もっとそうなるまでの過程の部分を見たい。

9. メモをとりながら相手の話を聞き、さらに関連する質問を考え尋ねる流れが印象的でした。自分の授業でも、文ではなくキーワードでメモをとり、それだけを見て内容を話せるように練習していきたいと思いました。

10. まるで昼休みに話しているかのような雰囲気で子どもたちが英語で話していた。

11. 生徒が積極的に英語を話したり、英語で質問したりする姿が印象的だった。また、全く教科書を使わずに授業を展開するところにかなり衝撃を受けた。

12. コミュニケーション中心の授業を見せていただいて、いい刺激を受けました。

13 子どもたち全員が間違いを恐れず、英語をどんどん使っていたこと。自主的に言葉を調べることが習慣づいていたこと。英語での質問をたくさんできていたこと。子どもたちがそうできる準備を先生方が積み上げてこられたのだと思いました。

14 自分の言いたいことを何も見ないで、表現していたこと。誰とでも自分の言いたいことを生き生きと話していたこと。友だちのスピーチを聞いて、たくさんの質問が出たこと。レベルの高い授業だったのに、全員が楽しそうに参加していたことが何よりも印象に残りました。

15 オールイングリッシュ授業が展開されていたこと、即興で生徒たちが英語を使って発表ができていたことなどが印象に残っています。

3 安心して話せる教室の雰囲気と、生徒同士・教師との関係（6件）

1. 教師と子どもたちとのインタラクションを大切にしている点。授業の雰囲気が重たくなく明るい印象。そのレベルに行きつくための緻密な計画。大変良い刺激を受けました。

2. 授業中のやり取りを見て、生徒同士の関係性がとても良いクラスだと思った。普段の学校生活を通して、良い関係を作ることが大切だと再確認した。

3. 印象に残ったところは、生徒が進んで英語を躊躇なく使っていたところです。そして、ペア活動する時には、お互いに助け合いながら話すことを怖がらない雰囲気を作れているところが印象的でした。

4. 心理的安心感のもとに、子どもたちが英語を発する環境があると思いました。中学3年生で、お互いを思いやる姿に、子どもたちの広い未来を感じました。

5. 最初に3年生の授業を見させていただき、生き生きと自分ごとを即興性を持って語る様子に感嘆すると共に、授業をどう進めていったらこのような様子になるのか？と思ったので、2年生→1年生の順に参観させていただきました。何より、どのクラスの授業も、生徒たちの心理的安全性が高いと感じました。間違ったり、自分ごとを言ったりしても、それを受け入れる雰囲気が教室内にあると感じました。また、瀧口先生の授業では4つのグループに分かれて、それぞれ生徒が発表していましたが、その発表に対する周りの生徒の頷きや、I agreeなどの発言が、発表する生徒にとっては、自分の英語が伝わったことや、自分の考えが受け入れられたという点で、とても嬉しいだろうなと思いましたし、英語って楽しいな！という思いになるだろうなと感じました。今は自分が授業をすることはありませんが、ここで感じたことを勤務校の英語科教員や、地区研などで指導助言をする際に活かしていきたいと感じました。話は変わりますが、太山寺中は私の初任校で、約30年ほど前に先輩先生から「オールイングリッシュで授業してよ！」と言われ、余裕なく必死で授業をしていた頃を思い出しました。今の太山寺中の先生方は同僚性が高く、一枚岩になって取り組んでおられるのが伝わってきました。あの頃の私とご経験はそんなに変わらないだろうなと思われる先生も堂々と、そして生徒さんが前のめりになる授業をされていました。今後の私に、大きな良い影響を与えてくださり、そして目指すべき英語の授業とは？という学びに向かう気持ちをめちゃくちゃ高めてくださった授業を見させてくださり、本当にありがとうございました。

6. 生徒たちがペア→グループ→全体と、とても自然に、自分たちで選んでディスカッションを楽しんでいるのが素晴らしいと思いました。また、聞く側の姿勢も温かく、話しやすい雰囲気で日頃の授業での積み上げを感じました。

4 生徒に委ねる授業と、教師の声かけ・支援（8件）

1. 教師の話数が少ない。発問も少ない。教師主体ではなく生徒主体を体感することができた1時間になりました。自分の興味を表現できる、質問にすることができる子どもたちの語彙力・フレーズ力は、基本文トレーニングで培われていると改めて感じ、毎回の帯活動として取り入れていかねばならないと強く感じることができました。

2. 今まで生徒主体の授業をと言われてきましたが正直あまりコレといった授業が自分ではできていなかったし、イメージがついていませんでした。ですが今回授業を参観していかに自分が生徒主体で動かすことができていなかったか分かった。今後すぐにでも全てを取り入れていきたいですが、まずは導入部分から活かしていきたいと思っています。

3. 目的・場所・状態を設定し、生徒が積極的に取り組む環境が当たり前の状態となっている。日々の積み重ねが大切で、積極的に話す環境を作りたいと思う。また、教師が答えをすべて渡すのではなく、仲間と協力してどんな表現ができるかを共有させることも大切だと感じた。この授業で自分にできることをすぐに取り入れ、ゴールを見据えた授業をしたい。

4. 生徒自身が答えを導きだせるような声かけや、支援をされていたことが印象に残っています。自身の授業にも取り入れていきたいと感じました。

5. 素敵な授業ありがとうございました。生徒にゆだねる場面が多く、必要な言葉だけを適宜、子どもたちの様子を観察しながらかけておられた姿がたくさん見られました。最終の目標に向けてのこの単元目標の設定や、この単元のゴールに向けてのこの授業のつながりが意識された授業であったと思います。子どもたちのうなずきや、レスポンスからそのように思いました。最後の方に「my happinessをour happinessに置き換えて考えると」という先生の問いかけに「ムズい」「哲学やん！」と返す子どもたちのワクワクした顔が印象に残りました。

6. 良い意味で、教師の発話がとても少なかった。スローラーナーも含め、ほとんどの生徒が自身の意見を英語で発話することを可能にしていることに驚くとともに、それを支える他者参照と基本文チェックの重要性に気づいた。現在マッピングを行っているが、英語の生成につまづいているため、基本文チェックをとりいれることで、可能にしたい。

7. 生徒への指示が明確で、生徒が迷わずに活動に取り組めていたこと。

8. 教師が主となって話す時間が極端に少なかったことが印象に残っています。生徒自身が流れを理解して、次にすることを予測しながら学習をしていてすごいなと感じました。自分の授業と比べて会話量がかなり多かったので、もっと積極的にそういったアクティビティを増やしていきたいです。

5 基本文トレーニング・Q&A・帯活動による土台づくり（11件）

1. 子どもたち同士でやり取りする場面が多かったように思います。また子どもたちが思考ツールや基本文トレーニングのワークシートを使い慣れているようで、毎時間の帯活動にも力を入れておられることが分かり、私自身も刺激になりました。

2. 自ら自分の伝えたい事を積極的に話していたのが素晴らしかった。基本文トレーニングやQ&A練習を取り入れてみたい。

3. 生徒が生き生きと活発に英語で表現しようと試みていたところが印象に残りました。その活動を支える帯活動である基本例文には下線が引いてあり、その部分を自分ごとの表現に変えることで自分の表現に繋がります。その取り組みを何度も重ねることで、生徒が自分で表現することを楽しんでいるように感じました。基本例文の取り組みをこれからの授業でより工夫して取り組みたいと考えています。

4. 生徒がとても生き生きと英語を使っていて、驚きました。帯活動で基本文トレーニングなどを活用して、生徒が自信を持って発言できるようにしていきたいと思いました。マッピングももう少し授業で取り入れていきたいです。

5. 3年生担当の私が同じ授業ができるのかと思いました。瀧口先生の細かい指導案の作り方や取り組みがすばらしいと感じました。毎日の帯活動などについてももう少しお聞きしたいことばかりでした。ありがとうございました。

6. 基本文のトレーニングをやってみたいと思いました。充実した言語活動（特に単元のゴールの言語活動）のためには、基本文の習得が必要だと感じました。現状でもある程度は既習表現と新出表現をいいバランスで活用できていますが、基本文トレーニングの時間を確保してより基礎の安定をめざしていきたいです。

7. 生徒が自信を持って発表していること。みんながその話を興味深く聴くこと。思考ツールを経由して考えを形成していること。すべては基本文トレーニングの継続と工夫だと感じました。

8. Q&Aの練習を生かして、生徒同士のかかわりを増やして、英語でやり取りできる状態を作りたいと思いました。また、基本文をより徹底して使い込み、すぐに英語が出てくる状態を作ろうと思います。

9. 生徒が主体であり主役の授業が印象に残った。一人ひとり英語に対する得意・不得意はあると思うが、だからといって消極的な態度にならずに、「相手に伝えたい」、「相手の言っていることを聞き取りたい」といった、積極的で活き活きとした態度に感動した。そのためには、日ごろからの基本文ワークシートやQ&Aシートを重ねることで、知識をつなげてインプットできているからだと思う。自身の授業においても、毎日の知識の積み重ねを行い、それを言語活動として生徒がアウトプットできるようにしていきたい。

10 基本文トレーニングを通して、生徒が自分に必要な英語の表現を文章で身に付けられている事がすごいと思った。また、先生からの問いかけに対する返答やペア・グループ活動において、見たところ英語が特段得意そうでない生徒も、積極的に英語で自分の意見を表現しようとしている点が一番印象に残った。普段から「英語を話す」事に不安を感じない授業作りがされているのだろうなと感じた。基本文トレーニングを使った文法や表現の定着や、単元の中で中間指導を行うことを今後の実践に活かしていきたい。

11 どちらの授業も、生徒が主体的に学ぶ様子がよくわかりました。日頃から基本文トレーニングでよく鍛えられており、それがディベートなどに生かされているなと感じました。基本文トレーニングは授業で実践してみたいと思いました。

6 思考ツールによる可視化・他者参照・自己調整・中間指導（15件）

1. 生徒たちの反応の良さや、温かい雰囲気。明日から、マンダラチャートを生徒たちの実情に合わせて活用していきたい。

2. マッピングなどの思考ツール、1つのキーワードから広げる質問力や帯活動を少しでも自分の授業に取り入れたいと思います。

3. ペアでのマンダラートが印象に残りました。

4. マッピングやそれを経た中間指導を丁寧にしたいと思った。生徒の興味を惹くような題を用意することを意識したい。

5. マッピングのワークシートでは、友人の意見は赤、意見が変わった時は青、とペンの色を変えていました。自己調整が目に見えたり、他者の意見も目に見えることで、考えが整理されていく姿を拝見しました。また、何も持たずに英語を話す活動をする姿が衝撃でした。

6. 生徒たちが活発にやり取りをしたり、自己調整をしていたところが参考になりました。

7. 授業内で、生徒がスピーチを作成する際に他者の意見を参照しながら自分の意見を調整していた点が印象に残りました。また、ペアで一つのワークシートを共有することで、お互いの協力が促進されているように感じました。

8. 生徒が能動的に動き出した場面として、自らの発話内容を調整する瞬間を捉えることができた。その過程には、後藤田先生の中間指導と、一人の生徒のスピーチ内容の全体共有があった。ねらいをもった中間指導の重要性を体感することができた。

9. 他者参照するための座席。未習表現が子どもから出てきた時の、子ども同士の関わりを増やすための対応。自分事として捉えやすい単元ゴールの設定

10. 教師が調整役となり、子どもたちが自ら学びを広げたり深めていく授業だったと感じました。仲間との関わりにより、少しずつ情報を付け足していく姿が随所に見えました。ワークシートの色分けも、わかりやすかったです。私は小学校籍なのですが、間違えた文法をどの程度まで許容するのか・・・と迷っていました。特に、話すこと「やり取り」では、大人でも正しい文で発話しなくても伝わることが多いので、単語をつなげて自分の思いを伝えられたらよしとしていました。井田先生が文法の正確性は「書くこと」で担保するとおっしゃっていて、とても納得しました。確かに、好きな動物を聞かれたときに、I like dog.といっても、Oh, you like dogs!で終わりでしたが、書くときには、sいるよ！と指導できるので、その分野で何を大切にするか、再度考えるよいきっかけとなりました。二人で一枚のワークシートも目からうろこでした。6年生Where is it from? で少し改良して、使わせていただきます！

11 ほとんどの授業がAll Englishであったにもかかわらず、生徒自身が「無理」から入らずにむしろどんどん「やってみたい」が引き出されていて興味深かった。教科書が授業の中で使われておらず、Q&Aのやり取りをベースに子どもたちがターゲットフレーズやNew wordsを習得していき、使い方やそのフレーズのニュアンスを学んでいる姿がとても印象的でした。各Unitで出会う文法事項やNew wordsがふんだんに使われるようなQ&Aを考えること、またSkitを作ることは骨が折れますが、実際に使わないと子どもたちの中で定着はしないので頑張ってやってみようと思いました。スピーチも、今まで組み立てていく際、マッピングやマンダラートを用いてみようと試みたものの上手くいかず困っていましたが、授業の流れを全て見させていただくことで活用の仕方がわかりました。ありがとうございました。

12 思考ツールを活用して、考えを広げ、それを見て生徒が英語を話していて、小学校でもそれができるように取り組んでいきたい。

13 ALTも参加された授業だったため、授業初めのTeacher's talkではその後の活動に繋げるための会話をしており、さらにそれに関して生徒に質問を投げかけたり、答えさせる時間を作ることで、生徒が授業に入り込みやすいようにされていたので、teacher's talkからの発展させ方をより考えていく必要があると感じた。また、その後の活動で、マンダラートに自らの考えを記入し、そこからマッピングしていく流れで授業されていたが、ペアで1枚のA3の紙をお互いに半分ずつ使うようにすることで、自分の考えだけでなく、相手の考えについても触れやすい環境で生徒がペア同士で話しながら積極的に取り組んでいたのが印象的だったのでぜひ取り入れてみたいと思った。また、その際黒、赤、青の3色ボールペンを用いてそれぞれ自分の意見、ペアから質問された内容、他者参照により自分に取り入れた内容をすぐにわかるようにされていたのもぜひ取り入れたいと思った。

14 全体発表の前にペアに発表し、お互いに質問して内容をより良くしていく活動が印象に残った。

15 井田先生の授業から生徒と生徒を繋ぐ方法を参考にさせていただきたいと思いました。机間巡視や意図的指名で生徒の意見を引き出し、クラスの中で生徒を繋ぐのはもちろんのこと、マンダラートのような思考ツールを用いた工夫を特に参考にさせていただきたいと思いました。生徒が主体的に英語を活用し表現していく姿がとても印象に残りました。

7 単元ゴール・目的や場面の設定と、逆算した授業づくり（7件）

1. 基本文トレーニングの英文を、生徒たちの普段の会話や記述の中から選び、「これを英語で言いたい！」となった時の「引き出し」になるようにすること。子どもたちをもっともっと主役にすること。瀧口先生の生徒たちの「自分」から「みんな」へと思考が広がった変容と、先生から生徒たちへのメッセージに、ウルウルしました。1つの授業であんなにまで心を揺さぶれるように、私もなりたいです。

2. 事前に5人の先生方の指導案をすべて読みました。活動のすべてがつながっているのがよく分かり、最終GOALまでの道筋が見えました。授業は、先生も生徒たちも楽しそうで、先生は生徒の活動をサポートしている感じでした。先生と生徒、生徒同士のやり取りが活発で、英語を口にすることが普通になっているのが印象的でした。トピックを自分ごとにする、より具体的な自然なやり取りができる場面を作る、という点を意識して授業を考えるつもりです。

3. 2年生を中心に授業を参観させていただいたのですが、子どもたちが思考ツールを使いながら自分なりに言葉をつなげていこうとする姿が印象的でした。「もっと話したい」と生徒たちが思うような授業を設計できているか、考えさせられる授業でした。バックワードデザインをしなければならないと思いながらも、指導案を最終授業からさかのぼって作っていくということをしたことがなかったので、これからは取り組んでいかなければならないと感じました。ありがとうございました。

4. 生徒たちが生き生きと英語を使ってやり取りをしていたことが印象に残りました。この風景をゴールとして、開始時にさかのぼり筋道を立てた授業展開を心がけたいと思います。授業はアウトプット中心で、まずさせてみることが肝心であると感じました。

5. 1年間の授業を始める前に、生徒が卒業時どんな姿になっていて、どういったことができるようになってほしいか、という見通しを立てて毎回の授業を行っているということでただ一個一個の授業をこなすのではなくてとても内容の濃いものになるのだなと思いました。一年の授業を見させていただいた時は、一年生がこんなに英語話すの！？と驚きそれはとても印象に残りました。だからこそ私も一年の見通しをより明確に持ちたいと感じました。

6. 生徒の英語のリアクションとリプライが当たり前に飛び交っていることに感激した。教師対全体も、生徒対生徒も。誰もが「話したい」と思っている生徒のマインドとクラスの雰囲気が、英語学習に一番必要で効果的だと痛感した。やってみたいと思える目的がある単元ゴールの設定は続けるが、同時に、話す、反応する、尋ねることが当たり前になるように、もっと場面を設定する。

7. 生徒がキーワードやマッピングを手がかりに、自分のこととして考えながら自然に話していたことが印象に残っている。また、先生の小さな声かけをきっかけに、「もう一回やりたい」と再挑戦する姿も見られました。英語を練習するだけでなく、「誰に、なぜ、どんな場面で伝えるのか」が明確なコミュニケーション活動になっていた点も印象的でした。

8 教科書の扱いと、授業改革への気づき・実践への意欲 (9件)

1. 子どもたちがあんなに英語を理解して使えることに驚きました。教科書の扱い方や4技能のバランスや子どもたちの特性など不安も多くありますが、長期的な目で授業改善していきたいと感じました。
2. 教科書を使わないで内容を違うものに置き換えて授業をしても良いこと。先生方が本気だったこと。
3. 驚きにあふれた授業を見せていただきました。自身が勤務する学校の生徒たちへ還元できるように、授業改革を始めていければと思います。
4. 教科書で教えるのではなくて、子どもたちに身近な話題を使ったり子どもたち同士の対話を通して表現を増やしたりする授業は今後に絶対に必要になる授業だなと思いました。子どもの実態に合わせて、まずは帯学習としてスピーキング活動を取り入れていきたいと思いました。
5. 次のUnitでは太山寺中学校の方法で指導してみたいと思いました。
6. 授業案から、生徒の様子まで、全てにおいて衝撃的でした。自校に帰り、早速真似させていただいています。表現に関わる時間をとりたいが、教科書も進めないといけないし、時間が無い、という課題を一気に払拭してくださったようで、本当に参加させていただいて良かったです。
7. 言語活動をベースとした授業を普及していかないといけないと思いました。
8. 中学生になるとどの程度の英語の力が求められるのか指導案からよくわかり、小学校の外国語の学習の見通しを少しもつことができた。
9. 生徒たち自身で積極的に英語を使用して活動を行うことはもちろん、生徒同士のコミュニケーションの場であっても積極的に英語が使われていたことがとても印象的でした。1年生であっても自分のわかる範囲の英語を使おうとしている姿は日々の積み重ねの大切さを実感させられました。少しずつでも自分の授業でも同じような生徒の姿を目指せるように意識して計画・実施をしたいと思います。また、教科書で教えるということがどういったことなのかが実際の単元計画や先生方からのお話で少し感じることができたと思います。生徒たちへの伝え方等も考えなければいけないというところもありますが、少しずつ教科書主体の授業を変えていこうとも思いました。

9 英語科の協働・学年を超えた取り組みと、継続の力（9件）

1. これまでの授業を改革することは、様々な不安を伴うとても大変なことだと思いますが、勇気を持って取り組まれたことに敬意を表したいと思います。

2. 5人の英語科の先生全員で話をして授業準備をされているところが素晴らしいと思いました。コベカツになって教科打ち合わせの時間が取れるようになったとは思いますが、費やす時間と労力はいかばかりだったかと思います。

3. 私は中学1年生の授業しか見学できませんでしたが、2年生、3年生の授業を見学された先生方も授業の様子、生徒の様子が共通していました。そのことから太山寺中学校の英語科の先生方が学年の枠を超えて1チームとなったからこそ素晴らしい授業になったのだと感じました。帯活動で基本文、質問力の徹底を地道に行うことで、生徒の活動の幅が広がるので小学校の児童の実態に合わせたものに変えて実践してみたいと思います。

4. 本日は有意義な研究授業に参観させて頂きありがとうございました。まずは英語科全員の先生方が一丸となって、果敢に挑戦をされたことに最大限の敬意を表したいと思います。その思いが伝わる、言語活動を中心においた生徒が主役の授業だったと思います。教科書本文を使用せず、従来の文法と演習中心の授業から脱するのは大変な葛藤があったことと思いますが、そのために毎日の帯活動で基本文とQ&Aプラクティスをしっかりとされたこと、単元ゴールから逆算したオリジナルな基本文作成をされたことを学ばせて頂きました。早速今後の自身の授業にも取り入れさせていただきます。

5. 全ての学年のすべての授業で生徒の雰囲気が一緒なことに驚きました。この学年はダメとかこのクラスは難しいとか判断しているのは大人であって、授業の質によって生徒はこんなに頑張るんだということを感じました。

6. 系統的に中嶋先生の指導を、英語の授業で、しかもチームで取り入れられていると感じました。

7. 英語科全員でされてるという点が印象に残りました。今日いただいたアイデアを実践していきたいです。

8. 本気で英語の授業を改革するには、学年問わず教科として新しい取り組みに挑戦することが大切だと感じた。「教科書で学ぶ授業」に向けて、マンダラチャートを取り入れるなど、少しずつ取り組んでいきたい。

9. 自身の知っている英語で伝えたい！という感覚が、伝わりました。また、継続して、即興的に伝える力の育成をすることで、変化が見られることを改めて感じました。英語科の4・5月の打ち合わせで確認し、本校でも取り入れていきたい。